

## 愛知北農業協同組合の農業振興活動について

令和4年1月27日（火）  
犬山市総合計画審議会  
午後7時開議

はじめに

愛知北農業協同組合は、「食と農を基軸として地域に根差した協同組合」として、皆さんへ安心安全な農産物をお届けし、農業者の所得増大、地域の活性化を実現するため地域農業者の育成支援などの事業活動に取り組んでいます。

### 1 犬山の農協

犬山の農協は、平成5年（1993年）10月、犬山市、江南市、岩倉市、大口町、扶桑町の3市2町にあります6つの農協が合併し、愛知北農業協同組合として発足しました。

令和3年3月末現在の組合員数では、

組合員数	26,588人	（うち犬山市	6,475人	24.4%）
正組合員数	9,431人	（うち犬山市	2,597人	27.5%）
准組合員数	17,157人	（うち犬山市	3,878人	22.6%）

となっています。

### 2 犬山市の農業の状況

犬山市の農業は、農林水産省「わがマチわがムラ」統計データ（農業生産額）によりますと

- ・コメ 4億2,000万円（JA愛知北管内 8.9億円 47.2%）
- ・野菜 6,000万円（JA愛知北管内 16.3億円 3.7%）
- ・果樹 1億4,000万円（JA愛知北管内 1.6億円 87.5%）

となっており、犬山市の農業はコメの割合が多く、次に果樹、野菜の生産額となっています。

### 3 農業振興と安全安心な農産物への取組み

当組合の農業振興と安全安心な農産物への取組みにつきまして、犬山市に係る最近の取組みを中心に説明します。

#### （1）農業資材価格の低減

農協で購入する農業資材（肥料、生産資材など）は、数年前からこの価格をホームセンターと同様な商品については、同一程度の価格に引き下げ、生産コストの低減を図っています。

また、予約注文や生産部会への特別価格の設定を行い、農業者の要望に応じています。

## (2) 地産地消への取組み

### ①産直センターの販売力強化

地産地消への取組みにつきましては、まず産直センター扶桑店、岩倉店の販売力強化に努めています。

犬山市の野菜出荷量は、他市町に比べ少ないことから、産直センターは出荷量の多い扶桑町にあります。犬山市の野菜農家さんは、産直センター扶桑店や朝市、三河屋犬山店などに出品されています。

### ②朝市等（別紙産直・朝市ガイドマップ、別冊 JA 農産物直売所情報誌参照）

犬山市内には、愛知北朝市（犬山支店）、ザ・朝市オブ犬山（ホテルインディゴ犬山有楽苑付近の木曾川河畔）などにおいて、毎週開催7か所、隔週開催1か所、月1回開催1か所の計9か所で、農家さんが開設されています。

また、桃太郎マルシェ in 犬山などのマルシェ出店やあいち農林水産フェアへも出店し、販売されています。

### ③インショップ

インショップの取組みは、大丸松坂屋、イオン扶桑店、ドン・キホーテ大口店、平和堂江南店・扶桑店で行われ、三河屋犬山店では、犬山市の野菜農家さんが独自に出品されています。

### ④学校給食

前回審議会でも資料を提出しましたが、犬山市の学校給食で地元農産物（ニンジン、キャベツ、玉ねぎなど）が使われています。

また、JAの6次化商品であります「うどん」、「冷や麦」、「桃ジャム・みかんジャム」をご使用いただいています。

### ⑤JA 6次化商品

当組合では、現在25品目の6次化商品を販売しています。

犬山産の商品では、地元の酒米を使用した日本酒「夢吟香」、犬山産の桃を使用した「フルーツジャム」、「ももジュース」、「桃ぼーろ」、犬山産小麦きぬあかりを使った「うどん」「冷や麦」「どら焼き」、「桃ぼーろ」、初回の審議会で配布されました「やぶきた茶」などがあります。

また、宝酒造さんから犬山産の桃を使用した「宝 CRAFT 犬山の桃」も販売されています。

### ⑥その他

犬山東部自然薯部会の「夢とろろ」等のイオン東海（4店舗）でギフト用として販売されています。

また、犬山市内の桃出荷組合では、数組合がそれぞれに出荷されていました

が、令和元年度から J A が窓口になり仲卸業者を通して、イオン東海（32 店舗）へ直接出荷することにより、各農業者の所得増大に繋がりました。

#### 4 全国農業協同組合中央会表彰及び農林水産省 HP 掲載について

##### （1）全中表彰（別冊「JA 愛知北自己改革」参照）

6 次化商品の開発・製造、産直センター、インショップ等を通じた販路の拡大などに取り組んだことが評価され、平成 31 年 3 月には「優良表彰組合」として全国農業協同組合中央会から表彰されました。

##### （2）農林水産省 HP 掲載

農林水産省 HP に「農業の発展に成果を出している農協の取組事例」として 29 道県の 53 事例が掲載されていますが、その中に愛知北農協の事例が紹介されています。

#### 5 市、商工会議所等との連携

犬山市を初め各市町の行政と連携すると共に、犬山商工会議所を初め各市の商工会議所、各町の商工会へ加入し、各種事業活動で連携を図っています。

##### （1）犬山市子ども大学農業学部

犬山市さんと連携し、「犬山市子ども大学農業学部」が平成 30 年度より開設されています。

##### （2）人・農地プラン

##### （3）犬山市農業経営地域戦略アクションプラン（平成 29 年度～令和 8 年度）

人・農地プランの実質化等に向け犬山市さんと共に施策の推進に努めているところです。

犬山市農業経営地域戦略アクションプラン（平成 29 年度～令和 8 年度）につきましても、このアクションプランに基づき農業の振興や農業者確保、耕作放棄地の解消に向け、犬山市さんと共に進めているところです。

J A 愛知北は、地域の皆様や犬山市行政、会議所などと共に農業振興に取り組んでいます。

今後とも J A 愛知北の事業活動に、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。